

事業所名

放課後等デイサービス つむぎの里雅錦

支援プログラム

作成日

令和6年

10月

1日

法人（事業所）理念	「つむぎの里雅」の名前には「共に時間、空間、心をつむいでいきたい」という想いが込められています。学校休業日には極力外出レクを行い、積極的に社会に出て、たくさんの経験を積んでもらいたと思います。放課後は短い時間ですが、リトミックなどを通じたSSTなどを行い、今後、社会に出ていく準備をしていきます。併設している就労継続支援B型の施設は、つむぎの里の卒業生も多く在籍していますので、先輩達の仕事ぶりを見て、つぎの進路を明確に位置づけることや、慣れていく事が出来ます。							
支援方針	卒業後の進路を見据えて、就学中に労支援施設等での就労体験を重ねて行きます。つむぎの里関連施設では、ジャム作り、オセロ作成、封入作業、カフェ体験、縫製、クッキーづくり、その他多様な軽作業などを体験し、今後の進路先の選定の一助となるような、支援を行っています。また、就学中と全く違う環境に慣れていくことも、大切なことと考え、実際の就労支援施設での先輩たちに囲まれた中での就労体験、施設での過ごし方の体験なども行います。SST「ソーシャル・スキルズ・トレーニング」とは、人が社会でほかの人と関わりながら生きていくために欠かせないスキルを身につける訓練のことを指します。基本はロールプレイ、簡単に言えば疑似体験が基本となります。「あいさつのしかた」「話の始め方終わり方」「買い物のしかた」「トイレの使い方」「手の洗い方」など、すべての行動が対象となります。もっと、簡単に言えば、「〇〇ごっこ」「××遊び」に少しだけ意味を付けたものです。こうした遊びの中から、社会性を身につけて行ければと考えています。また、音楽療法なども行っています。							
営業時間	平日 休業日	13時	00分	18時	00分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ●身だしなみや食事マナー等、生活上のスキルを習慣化し、それぞれのお子さんに合った生活が実現できるようサポートをします。 ●定期的な健康チェックや病気予防を徹底するとともに、活動の機会を通して健康な身体作りの基礎を学びます。 ●送迎時や移動時の交通安全や防災訓練を通じて、日常の安全意識を高めていきます。 ●スケジュール管理や睡眠の重要性を学び、ご家族のご協力を得ながら、規則正しい生活を促します。 ●リラクゼーションや感情コントロールに配慮し、心の健康も支援します。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ●柔軟性を高めるストレッチ等を活動に取り入れ、健康な身体作りをサポートします。 ●感覚を刺激する遊びバランスボール等を使った運動で、バランス感覚と空間認識を養います。 ●音楽に合わせたダンスやリトミックで、リズム感と協調性を育み、楽しく体を動かします。 ●ポッチャや的当て等の活動を通して、手指の運動性を高めます。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ●パズルや知育玩具等を通じて、問題解決能力や記憶力を育みます。 ●個別課題や宿題のサポートで、学習に取り組む習慣と基礎的な学習スキルの向上を図ります。 ●感覚の過敏性や認知の偏り等、個々の状況把握を行い、環境への配慮と行動障害への予防や適切な対応を支援します。 ●SSTや役割遊びを通じて、友達とのコミュニケーションや協力の仕方を学びます。 ●スモールステップで小さな目標を設定し、達成感を味わうことで自信をつけ、自己肯定感を高めていきます。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ●発音練習や語彙力向上のための言葉遊び等の活動を通じて、正しい言葉の使い方を学びます。 ●言葉の発達支援や文字の習得、絵カードの使用など、コミュニケーション（意思伝達）における代替手段を模索し、一緒に考えていきます。 ●ジェスチャーや表情、アイコンタクトの練習を通じて、言葉以外のコミュニケーション方法を学びます。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ●挨拶や感謝・謝罪等の表現を練習し、友達との関わり方を体験します。 ●創作活動や集団活動を通じて、友達とのやり取りを楽しみながら、チームワークと協調性を育みます。 ●自己の行動や感情に気づいたり、対処法を考える等、気持ちのコントロールやストレスの発散方法等を一緒に考えていきます。 						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ●毎送迎時に本人の様子や状況などの情報共有を図る時間を設けます。 ●定期的な面談（6ヶ月に1回以上）とカウンセリングで、お子さんの成長や課題について話し合い、心のケアをサポートします。 ●SNS等を積極的に活用し、オンライン相談の場を設け、いつでも相談できる環境を提供します。 				移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ●進学先・就労先、施設との情報共有をします。 ●進学、就労、環境変化に向けての課題提示及び実践をしていきます。 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ●関係各所（相談支援事業所、学校、他放課後等デイサービス等）と連携をして支援していきます。 ●近くの畑での芋ほりや果実狩り等を通じて、地域との関わりを提供していきます。 				職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●定期的な研修（オンライン『シエンシー』含む）を通じて、知識と実践的なスキルを学んでいます。 ●資格取得を支援することで、職員の専門性を高めます。 ●働きやすい環境の整備やワークライフバランスの推進に努め、職員のストレス軽減を図っています。 		
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ●季節にちなんだ活動等、イベント行事を定期的実施しています。（初詣、節分、夏祭り、クリスマス会等） ●同グループ内の就労継続支援B型施設「愛輪の里雅」での就労体験を実施しています。（長期休暇等を利用し年1～2回程度） ●季節の収穫体験（芋ほり・果実狩り等）を行っています。 ●外出レクリエーションの機会を設け、鉄道博物館や公園、地域施設等の社会資源を活用しています。 							